

[様式第1号の作成方法等]

様式第1号は原則として次のとおり記入する。これによりがたい場合は、教育委員会に問合せること。

1 使用様式

県教育委員会が作成した令和4年度用（用紙の右上に④とある）の様式第1号を使用すること。

2 選抜（Ⅰ）、選抜（Ⅱ）、選抜（Ⅲ）、帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜、連携型中高一貫教育に関する選抜及び秋季入学のための選抜による志願をする場合は、それぞれⅠⅡⅢ
帰連秋を赤色で囲む。

3 「保護者」は、次のとおり。

- ・未成年の者については、その親権者又は未成年後見人
- ・成年の者については、その保証人

未成年後見人が法人である場合もある。また、保証人は独立の生計を営む成年の者であること。

4 保護者の署名欄以外は志願者本人が記入することを原則とする。

5 氏名は住民票に基づいて記入する。

6 様式中の生年月日に係る部分は、外国人の場合は「昭和・平成 年 月 日生」とあるのは、「年 月 日生」と読み替えるものとする。

7 必要な文字を○で囲む。

8 現住所は、都道府県名から原則として住民票に基づいて記入する。保護者の現住所が志願者と同じである場合は、「志願者に同じ」としてよい。

9 「志願者学歴」欄について

中学校卒業後の学歴がある場合は、その入学、卒業、退学等について全て記入する。欄が不足する場合は、「中学校第3学年」の下にある欄を横線で二分割する、あるいは「裏面記入」として、入学願書の裏面に「学校名」、「年 月」及び「卒業・その他」の項目を記入した上で、中学校卒業後の学歴を記入する。

10 学科名は、専門教育を主とする学科については、付表2（P150～P154）に示す学科名を記入する。

11 「志願学科・コース」の「第2志望」及び「第3志望」の欄については、複数の学科・コースを有しない高等学校に志願する場合、複数の学科・コースを有するが第2志望及び第3志望を認めていない高等学校に志願する場合、第2志望及び第3志望を認めているが志願者が志望しない場合は空欄とする。

12 「選抜（Ⅱ）出願高等学校」の欄は、選抜（Ⅲ）に志願する者で、選抜（Ⅱ）の一般学力検査の結果を活用する高等学校の学科・コースに提出する場合に記入する。

なお、定時制の課程への出願において、選抜（Ⅱ）に出願していない場合は、「高等学校名」欄に「出願無」と記入すること。

13 選抜（Ⅱ）及び帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜において志願変更する場合は、変更すべき箇所に取り消し線（赤）を1本あるいは2本引き、朱書訂正する。訂正印は必要ない。

14 誤りを訂正する場合は、取り消し線（黒）を1本あるいは2本引く。訂正印は必要ない。

15 中学校卒業後5年を超える者については、出身中学校長による確認は不要とする。